

神戸市従業員労働組合環境支部との交渉議事録

1. 日 時：令和6年10月16日（水）16：36～16：49
2. 場 所：三宮プラザ EAST 地下1階 環境局会議室2
3. 出席者
 - （市）部長（施設担当）、事業系廃棄物対策課長、業務課課長（事業管理担当）、業務課長、業務課係長（職員担当）、他4名
 - （組合）市従環境支部副支部長、書記長、書記次長兼会計、書記次長、他3名
4. 議 題：年末年始特別作業団体交渉
5. 発言内容：
 - （組合）9月18日（水）に提案された年末年始特別作業の実施について、我々としても、市民の方に気持ちよく新年を迎えていただくために非常に重要であると認識している。また、特別作業を行わない場合、年始のごみ量が多大となり、一部のクリーンセンターにおいては処理能力を超えてしまう恐れがあるため、特別作業の必要性についても十分に理解している。しかし、実施するにあたっては職員の健康管理、交通安全対策、作業事故防止対策といった安全性を確保することが重要であると考えるため、先日提出された提案で把握ができなかった内容について確認を行う。収集部門について質問する。年末年始特別作業期間中は平常時とは異なり、渋滞、降雪、路面凍結などの道路状況の影響により、計画通りに作業を行うことが困難となることが予測されるが、最終帰着時間の想定や安全対策について説明をお願いしたい。
 - （市） 昨年は特に大きな渋滞の発生や積雪などトラブルもなく、31日には17時00分までに全市のごみ収集は終了している。今年の31日の燃えるごみの滞留日数は昨年度と同じだが、ごみ量は昨年度の実績より約500t少ない想定となっている。なお、最終帰着時間を16時16分と想定しており、予備車の活用を含め各事業所で工夫することで、対応は可能と想定している。
安全対策も含めたリスク管理については、局としても重要な業務であり、事前の対応も重要となる。降雪対策としては、「積雪時等非常時における作業手順」について改めて周知を図るとともに、例年同様スタッドレスタイヤの装着を行っていきたいと考えている。
あわせて、作業用後部ライトの装備や点検整備など、作業上必要な安全対策を講じていきたいと考えている。なお、備車についても同様の対応をしていきたい。
 - （組合） 昨年度の特別作業において、何かトラブルはあったか。また、予期せぬ事態が発生し収集業務が滞った場合の対応について説明をお願いしたい。

- (市) 昨年度については、特に大きなトラブルは発生しなかった。また、大きな渋滞が発生した場合には、搬入先を変更するなど弾力的な対応を行っていきたいと考えている。
- (組合) 次に処理部門について質問させていただく。クリーンセンター、布施畑環境センター、資源リサイクルセンター、カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設について、受け入れ時間などの具体的な考え方について説明をお願いしたい。
- (市) クリーンセンターでの焼却処理については、今年度も昨年度に引き続き焼却を継続することとしている。また、直営の搬入受け入れについては、31日までであることから、全車搬入が終了するまで受け入れる体制をとる計画としている。基本的に全体の焼却計画と搬入計画に準じるが、期間中の搬入量やピット残を見ながら、業者搬入調整ならびに中継の搬入を臨機に組み替え、年始の各クリーンセンターのピット残が、それぞれの規模に応じたものになるよう調整し、全体として、より安全な処理計画を組む。次に、中継施設である妙賀山クリーンセンター、落合クリーンセンター、苅藻島クリーンセンターでは、直営の搬入及び中継搬出が31日までであることから、年始の作業に影響がでないよう考慮して作業終了としたいと考えている。各施設におけるごみピットや灰ピットの残については、処理や搬入計画に基づいて、それぞれのピット容量に応じて計画している。

布施畑環境センターの受入時間については、直営、中継は、12月31日(火)の作業終了まで、許可業者は12月31日(火)16時まで、大型ごみは12月31日(火)の作業終了までを予定している。また、中継搬出と破碎選別業務については、12月31日(火)の作業終了までを予定している。尚、私人の受入時間については12月27日(金)までとし、年始は1月6日(月)から平常受付を予定している。次に、資源リサイクルセンターの受入時間については、直営、中継は、12月30日(月)の作業終了まで、31日(火)は12時までの予定としている。尚、私人の受入時間については12月27日(金)までとし、年始は1月6日(月)から平常受付の予定としている。

カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設(大栄環境・藤定運輸)の受入時間については、12月29日(日)と30日(月)は作業終了まで、31日(火)は、8時から12時までの予定としている。なお、許可業者については、29日(日)と30日(月)は、時間を区切って8時から15時まで、31日(火)は、直営と同じ8時から12時までの予定としている。

- (組合) 炉の立ち下げ・立ち上げ時のトラブルなどのリスクを避ける観点から、昨年度の特別作業においては、立ち下げを行わず焼却を継続し業務を行ったが、何かトラブルはあったか。今年度についても立ち下げを行わない計画となっているが、年始の出務体制をどのように考えているのか説明をお願いします。また、年始の作業をすることで得られる、発電の効果などについて、説明をお願いしたい。
- (市) 特に立ち下げ・立ち上げを行わなかったことに対して、大きなトラブル等もなく、安定的な焼却業務を継続して実施することができた。年始の運用については、日中については B 直班に加えて、総作業担当係長、作業担当係長、作業長の中から 1 名、夜間については、C 直班の出務でお願いしたいと考えている。年始の 3 日間での焼却業務により発電した電力を、約 120 万キロワットアワー売却し、その収入は約 1,500 万円になると想定している。
- (組合) 事業系許可業者の搬入については、年末年始も受け入れを行う計画となっているが、受け入れの時間など具体的な考え方について説明をお願いしたい。
- (市) クリーンセンターにおける許可業者の年末年始の受付時間の案について、12 月 29 日（日）と 30 日（月）は苅藻島 CC が 8 時から 19 時まで、港島 CC が 7 時 30 分から 16 時まで、他 3 CC が 8 時から 16 時まで、31 日（火）は港島 CC が 7 時 30 分から 21 時まで、苅藻島 CC が 8 時から 21 時まで、他 3 CC が 8 時から 16 時までとなっている。また、1 月 3 日（金）については港島 CC にて受け入れを行い、受入時間を、7 時 30 分から 12 時までとさせていただきたい。参考までに年末の搬入状況について説明する。令和 5 年 12 月の搬入台数は、29 日、30 日、31 日、3 日間合計で 812 台となっており、前年の令和 4 年 12 月（828 台）より 16 台減少している。1 月 3 日の搬入台数は、103 台で、昨年（106 台）より 3 台減少している。
- (組合) 昨年度、年始の許可業者搬入については、港島クリーンセンターで受け入れを行ったが、何かトラブルはあったか。
- (市) 1 月 3 日の許可業者搬入について、港島クリーンセンターで受け入れを行ったが、特に大きなトラブルはなかった。従来から課題となっている三宮・元町周辺等の繁華街での早朝収集、カラス被害に対応するため、市内中央部に位置する港島クリーンセンターにおいては、搬入開始時刻を早める実証実験を令和 3 年度から実施しており、今年度も昨年同様 7 時 30 分から 12 時 00 分までの搬入受け入れとしたいと考えている。

(組合) 布施畑環境センターにおいては、特別作業期間中、直営・私人の搬入台数が増加することが予測される。また、過去には特別作業期間中に火災が発生した事例もあることから、事故防止や火災に対する対策について説明をお願いしたい。

(市) 私人の受入れについては12月27日(金)までとし、28日(土)以降の特別受付の実施は予定していない。また、事故防止対策及び火災対策については、常駐警備や巡回警備の各請負業者に対して、より一層、安全対策を徹底するよう、指示する。なお、巡回警備については、平日は2回、施設が無人になる年始(1月1日～5日)は、日に5回巡回する。機械警備については常時(24時間)実施となっている。特に破砕選別施設は、過去に火災が発生しているため、特に注意したいと考えている。

(組合) これまでの回答を受け、局の考え方を確認することができたため、年末年始特別作業提案については了承させていただく。しかし、収集・処理業務の現場実態は日々変化するため、計画を策定する際には、過去の事例だけでなく、現場の実情をよく把握した上で柔軟に対応していただき、年末年始特別作業に従事する職員に対しては、丁寧に説明していただくようお願いする。

(市) 年末年始特別作業の実施にあたっては、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行に対する感染症対策など、職員の健康管理のほか、交通安全や作業事故防止の対策を行い、安全性の確保に十分配慮する。そのために、現場の実情をしっかりと把握し、作業計画について職員一人一人へ丁寧な説明が行えるよう、尽力する。引き続き、ご理解とご協力をお願いしたい。